

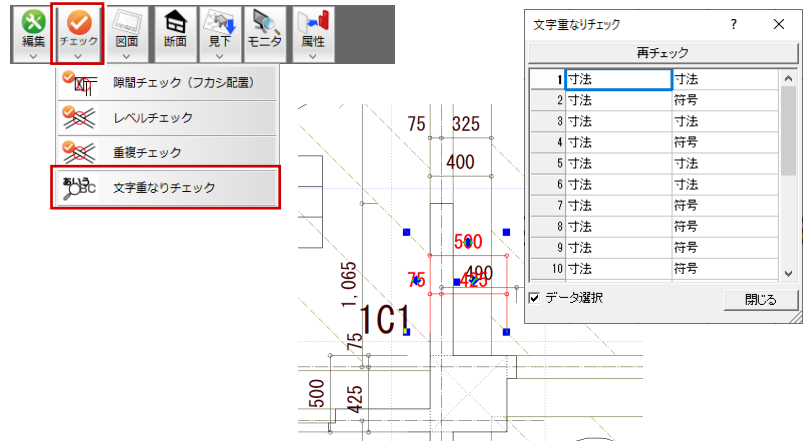
# J-BIM 施工図 CAD 2022 の新機能

## RC 躯体図

### 文字重なりチェック

汎用コマンドの「文字」メニューにある「文字重なりチェック」を、専用コマンドの「チェック」メニューからも実行できるようにしました。

図面内で文字列が重なって配置されている箇所がリストアップされ、移動や削除などの修正をスムーズに行うことができます。

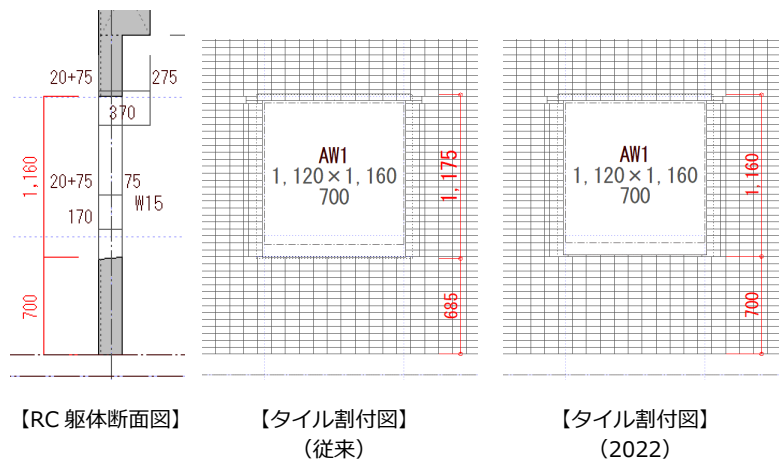


## タイル割付図

### 開口下端の水勾配おさえ

従来、躯体開口の下端の寸法を、RC 躯体図では水上側、タイル割付図では水下側をおさえ描画していたため水勾配分の相違が出ていましたが、タイル割付図でも水上側をおさえるように変更しました。

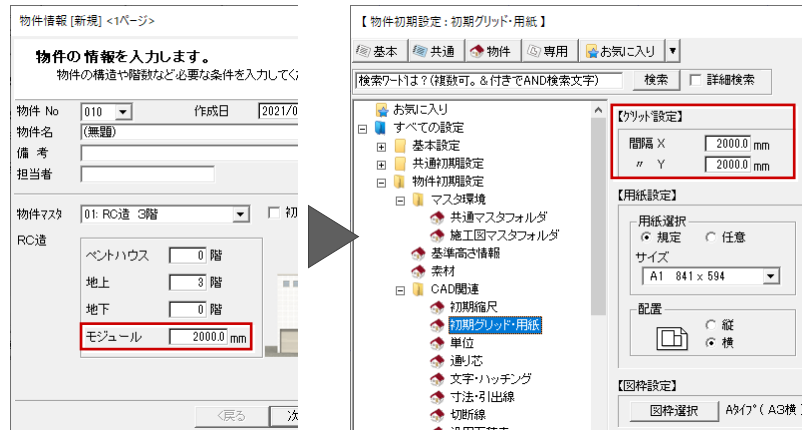
食い違いのない図面を作成できます。



## 共通

### モジュールの連動

新規物件の作成時に指定したモジュールが、「物件初期設定：CAD 関連－初期グリッド・用紙」の【グリッド設定】に反映されるようにしました。



### 推奨ブラウザの変更

ヘルプ、サポートサイト、リモートサポートサイト呼び出しなど、Internet Explorer 11（以下 IE11）を使用していた箇所を Chromium 版 Edge に変更しました。また、ブラウザ利用部分は既定のブラウザで表示可能になりました。IE11 のサポート終了後も安心安全にご利用いただけます。

## 汎用

### 山形の拡張

山形の線端に矢印タイプを設定できるように拡張しました。自由度の高い山形の表現が可能になります。



### 寸法線の拡張

寸法線に接頭文字列、接尾文字列を設定できるようにしました。

従来は、寸法値の前後に文字列を追加した後にトラック編集や属性変更などを行うと、寸法値のみの表記に戻ってしまいましたが、編集後も前後の文字列を維持しながら正しい寸法値が描画されるようになり、編集の手間が軽減します。

